

九電グループCSRダイジェスト2018 ハイライト



お客さま満足の
創造

電力を絶やさず安定的に お届けします

2018年度も、台風による被害が多数発生しましたが、総力を挙げて復旧にあたり、早期に送電しました。

■平成30年台風24号(最大停電戸数:約313.8千戸)

九州各県から協力会社を含め最大約4,700名を動員し、停電発生(9月29日)から5日後までに、全ての高圧配電線への送電を完了



安全・安心の
追求

原子力発電所の安全確保に 万全を期します

当社の原子力発電所は、「世界でも最も厳しい水準にある新規規制基準」に適合し、安全対策の有効性が確認されています。

今後も、「福島第一原子力発電所のような事故は決して起こさない」という固い決意のもと、安全運転に万全を期するとともに、更なる安全性の向上に取り組んでいきます。

■重大事故を防ぐ5つの段階に応じた多様な安全対策を実施

①異常の発生を防ぎます

地震や津波、竜巻などの大規模な自然災害への備えを強化

②異常の拡大を防ぎます

重大事故の防止に必要な電力を確保する発電機を新たに配備

③燃料の損傷を防ぎます

燃料の冷却を確実に実施するポンプを新たに配備

④格納容器の破損を防ぎます

格納容器の冷却手段の多様化、水素濃度の低減対策を実施

⑤放射性物質の放出及び拡散を抑えます

放射性物質の放出・拡散を抑える放水砲や水中カーテンを配備



環境にやさしい
企業活動

再生可能エネルギーを 積極的に開発・導入しています

九電グループの開発目標の達成に向け、グループ一体となって、再生可能エネルギーを積極的に開発・導入しています。

開発目標: 2030年度までに**400万kW**
(2018年9月末時点:208万kW)

地熱発電



八丁原発電所(大分県)

風力発電



長島風力発電所(鹿児島県)

水力発電



上椎葉発電所(宮崎県)

太陽光発電



大村メガソーラー発電所(長崎県)



地域・社会との
共生

九州の明るい未来のために、 活動します

「九電みらい財団」では、九電グループの思い「ずっと先まで、明るくしたい。」を実現していくため、環境活動・次世代育成支援活動を積極的に行っています。

■環境保全活動: 坊ガツル湿原(大分県)一帯の自然環境保全

■環境教育活動: 社有林を活用した次世代向け環境教育



坊ガツル湿原/野焼き活動



林業体験

■次世代育成支援活動: 地域団体の活動への助成



ステージ中津491(大分)
～商店街での「職人フェスティバル」の開催～



(一社)キャリアサポートクラブ(北九州)
～発達障害等の子どもたちと社会との関わりを支援～

2017 年度 実績	環境保全活動	活動5回、約500名参加
	環境教育活動	活動24回、約1,300名参加
	次世代育成支援活動	20団体に助成